

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年8月20日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

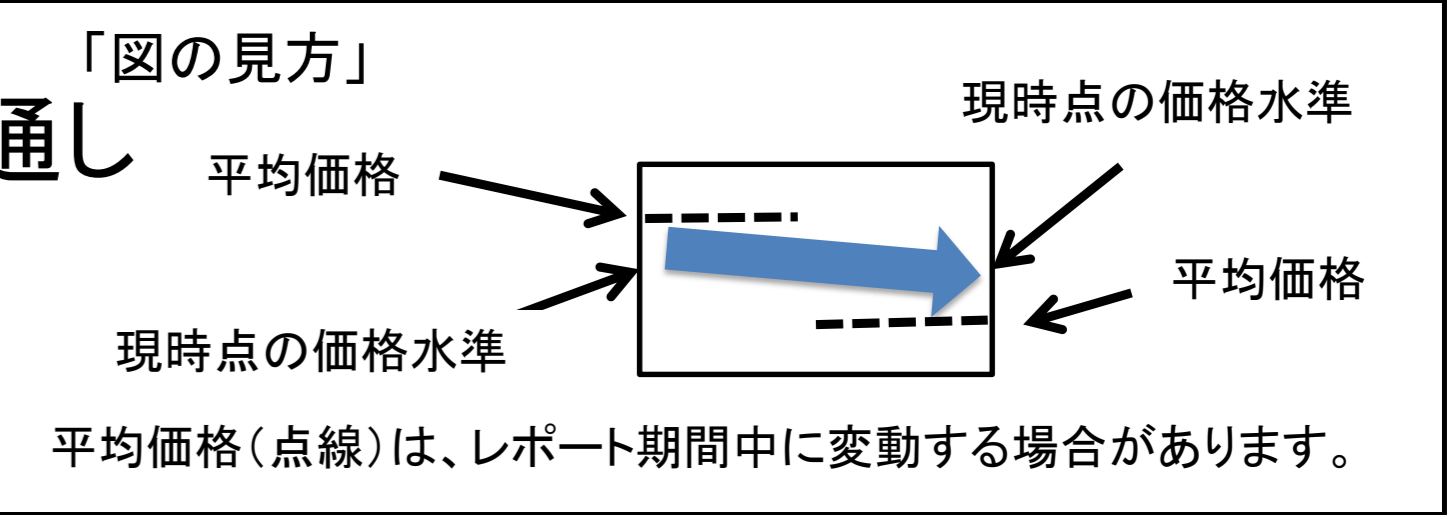
種類	7月の価格情報				8月の価格情報		8月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	9月の主産地	生育及び価格の9月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	上旬	中旬					下旬
		中旬	下旬								
葉茎菜類	キャベツ	77.90	77	115	77.90	105	・12.905t (98%)	群馬(73)	群馬産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育が遅延して小玉傾向となっているものの、その後の適度な降雨により生育が回復していることから、現在平年を下回る出荷は、今後は平年並みの出荷の見込み。 高温・少雨の影響により7月下旬から値を上げて現在平均を上回っている価格は、群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、今後は平均並みで推移する見込み。		
		88.91	79	119	88.91	104	・4.723t (91%)	群馬(67)、長野(29)			
	たまねぎ	102.67	83	87	102.67	102	・3.596t (113%)	北海道(93)	北海道産は、6月下旬以降の長雨・日照不足により生育が遅延したものの、初期生育が前進していたことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 佐賀産の出荷が終盤を迎え、流通在庫も徐々に減少する中、8月に入り値を上げて現在平均並みの価格は、北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、引き続き平均並みで推移する見込み。		
		102.67	88	89	102.67	104	・2.645t (137%)	北海道(63)、兵庫(33)			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	287.00	356	324	287.00	336	・1.625t (87%)	青森(26)、秋田(18)	青森産は、6月以降の長雨・日照不足により生育が遅延しているものの、その後の好天により生育が回復していることから、現在平年を下回る出荷は、今後は平年並みの出荷の見込み。秋田産は、7月中旬以降の高温・日照不足により生育が遅延していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 秋田産の出荷が平年を下回ると見込まれるものの、青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		462.77	383	510	462.77	592	・126t (62%)	香川(36)、徳島(19)			
	はくさい	58.82	59	94	86.06	144	・3.265t (95%)	長野(82)	長野産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育が遅延して小玉傾向となっているものの、その後の適度な降雨により生育が回復していることから、現在平年を下回る出荷は、今後は平年並みの出荷の見込み。 高温・少雨の影響により7月下旬から値を上げて現在平均を上回っている価格は、長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、今後は平均並みで推移する見込み。		
		62.79	61	99	88.72	148	・1.638t (77%)	長野(100)			
	ほうれんそう	583.95	682	768	583.95	757	・348t (85%)	群馬(33)、栃木(21)	群馬産及び栃木産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育が遅延していることに加え、病害や発芽不良も散見されることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 高温の影響で出荷が減少したことにより7月中旬から値を上げて現在平均を上回っている価格は、群馬産及び栃木産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		670.86	732	782	670.86	822	・146t (70%)	岐阜(71)			
	レタス(結球)	120.13	93	156	158.27	129	・5.657t (94%)	長野(79)	長野産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育が遅延して小玉傾向となっていたが、その後の適度な降雨により生育が回復し順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 高温・少雨の影響により7月下旬から値を上げてその後は徐々に値を下げている価格は、8月から平均価格が上がる中、長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を下回る価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。		
		125.61	97	171	152.57	128	・1.919t (96%)	長野(92)			
果菜類	きゅうり	232.28	405	302	232.28	284	・4.029t (79%)	福島(27)、群馬(14)	福島産及び群馬産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により花落ちや病害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 福島産及び群馬産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		244.44	418	321	244.44	296	・1.391t (91%)	福島(25)、北海道(24)			
	トマト(大玉)	265.08	281	306	265.08	314	・4.436t (79%)	北海道(17)、青森(16)	北海道産及び青森産は、6月下旬以降の長雨・日照不足、7月中旬以降の高温により樹勢が低下していることに加え、花落ちも散見されることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 北海道産及び青森産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		298.46	293	322	298.46	326	・1.947t (82%)	岐阜(38)、北海道(33)			
	なす	242.04	348	311	242.04	313	・3.024t (100%)	群馬(37)、栃木(31)	群馬産は、適度な降雨もあり順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、7月中旬以降の高温・少雨で生育が遅延していることに加え、花落ちも散見されることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年並みと見込まれるものの、栃木産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		232.81	341	349	232.81	353	・938t (83%)	山梨(29)、徳島(18)			
	ピーマン	290.48	468	459	276.76	509	・945t (85%)	茨城(41)、岩手(35)	茨城産及び岩手産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により、花落ちや病害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 茨城産及び岩手産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。		
		307.99	445	454	296.27	478	・465t (99%)	青森(31)、大分(19)			
	根菜類	だいこん	94.60	118	126	94.60	118	・3.097t (82%)	北海道(64)、青森(33)	北海道産は、6月下旬以降の長雨・日照不足の影響により生育不良となっていることや、播種が遅延したことから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。青森産は、6月下旬以降の長雨・日照不足、7月中旬以降の高温・少雨の影響により小ぶりになっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 東北産が降雨の影響で出荷が減ったことから7月中旬以降値を上げて現在平均を上回っている価格は、北海道産及び青森産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
			90.60	111	119	90.60	114	・1.338t (87%)	北海道(68)、岩手(12)		
		にんじん	133.01	141	154	123.08	126	・3.062t (80%)	北海道(98)	北海道産は、6月下旬以降の長雨・日照不足の影響により生育が遅延しているものの、8月中旬以降作付面積を増加した産地の出荷が始まっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。	
								北海道(99)			

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価額は、機構HPに掲載しているもので下記URLを参照。
URL: https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

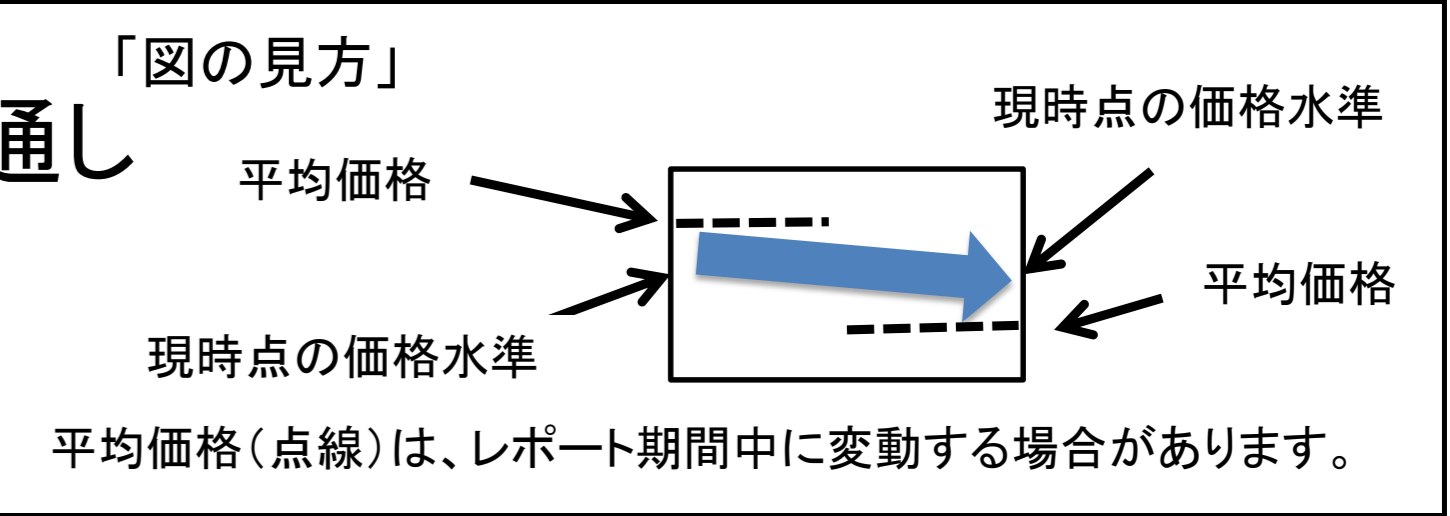
種類	7月の価格情報			8月の価格情報		8月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	9月の主産地	生育及び価格の9月上旬までの見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格			
		中旬	下旬					
いも類	さといも	361.20	466	369	280.27	487	・84t (92%)	千葉産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育が遅れていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
		(129%)	(102%)		(174%)			
	ばれいしょ	347.90	489	312	242.12	401	・20t (69%)	北海道産は、6月下旬以降の長雨・日照不足により生育の遅延はあったものの、初期生育が前進していたことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産の出荷が終盤を迎え、流通在庫も徐々に減少する中、8月に入り徐々に値を上げ平均に近づいている価格は、北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、今後は平均並みで推移する見込み。
		(141%)	(90%)		(166%)			
	117.36	79	78	117.36	90	・1,424t (70%)	北海道(92)	
	(67%)	(66%)		(77%)				
	117.36	83	82	117.36	99	・909t (87%)	北海道(98)	
	(71%)	(70%)		(84%)				



注：1 平均価格は、過去6カ年（平成23～28年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格（平成25～29年）とは異なる。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載しているの下記URLを参照。
URL：https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	7月の価格情報			8月の価格情報		8月上旬の東京及び大阪市場の入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	9月の主産地	生育及び価格の9月上旬までの見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格			
		中旬	下旬					
洋菜類	ブロッコリー	384.87	478	390	384.87	545	・381t (74%)	北海道産は、6月下旬以降の長雨・日照不足により生育や定植が遅延している中で、7月中旬以降の高温で病害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。長野産は、7月中旬以降の高温・少雨の影響により生育不良となっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 北海道産及び長野産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
		(124%)	(101%)		(142%)			
		412.22	512	452	412.22	514	・134t (100%)	北海道(66)、長野(20)
		(124%)	(110%)		(125%)			



注：1 平均価格は、過去5カ年（平成25～29年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載しているの下記URLを参照。
URL：https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メルマガジンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。
※無断転載せず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。